

国指定重要文化財 洞口家住宅

「茅葺民家・味噌蔵・米蔵」公開イベント開催!!

蔵カフェ in 味噌蔵

～蔵と民家と一杯のコーヒー～

洞口家住宅には、米蔵・味噌蔵・座敷蔵
の三つの蔵が現存しています。この度、
味噌蔵を新たに喫茶空間として
提案いたします。

開催日程 11月2日(土)



AM 10:00 ~ PM15:00
(ラストオーダー PM14:30)

国指定重要文化財 洞口家住宅 蔵カフェ企画

～蔵と民家と一杯のコーヒー～

11月2日（土）開催

*** 江戸時代からつづく豊穰な空間体験 ***

この度、重要文化財洞口家住宅で農家の景観を背景とした
カフェ企画を開催します。洞口家住宅に現存する3つの蔵のうち
今回新たに、味噌蔵を活用し喫茶空間を演出しました。

また、米蔵は、ギャラリー空間として活用し、
今回は釜神様を展示した釜神展を実施します。

常設展として蔵カフェの過去の記録を
展示したギャラリー空間を設けています。

～企画内容～

カフェ（味噌蔵にて） 10:00～14:30 ※ラストオーダー

コーヒー 1杯 200円（実費） おかわり 1杯 100円 ※売り切れの場合、その場で終了とさせていただきます。

※お昼ご飯の提供はございませんのでご了承ください。

イベント場所 味噌蔵（蔵カフェ）・米蔵（ギャラリー）

※ギャラリーはご自由にご覧下さい。

その他にも茅葺民家の中では、民謡・歌謡曲等を聞けるイベントも開催されています。

茅葺民家の中・蔵の中でコーヒーを片手に洞口家住宅を体験してみませんか？

新たにカフェ空間となった味噌蔵とともに皆様のお越しを心よりお待ちしております。



洞口家概要

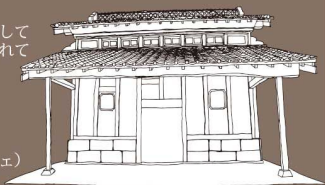
洞口家住宅は、名取平野の水田地帯に敷地を構える農家であり、江戸時代・約300年前から同地に建っている茅葺民家である。

主屋を中心とした宅地の正面に表門、表門の後方に馬屋（まや）、主屋の後方に座敷蔵と味噌蔵を建てる。表門の正面には、道路を挟んで米蔵が建つ。宅地の背後には「いぐね」と呼ばれる防風林が設けられている。

主屋は、床面積242㎡を有する大型農家である。内部は、床上が四間取りの名取地方に見られる特徴的なもので「名取型」と呼ばれている。



味噌を収蔵していたと言われている蔵

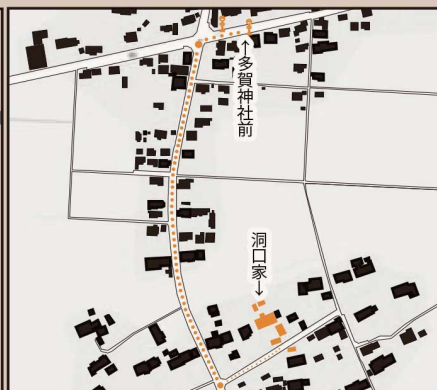


(新・蔵カフェ) 味噌蔵

米を収蔵していた蔵



(ギャラリー) 米蔵



ご案内

所在地：名取市大曲字小路 26

アクセス：名取市コミュニティバス
閑上行き（増岡経由）

多賀神社前下車 約8分

主催者：東北工業大学・鹿児島大学

※ご不明な点があれば下記までご連絡ください。

連絡先：担当者（瀬戸） TEL 080-3330-5324